

農地利用最適化推進委員応募状況(令和6年1月17日現在)

推薦(法人又は団体)

推薦区域 7		応募番号 1	
<b>被推薦者(推薦を受ける者)</b>			
(さいとう まもる) 齋藤 護	職業	営農年数	
	農業	年	
	年齢	耕作面積	
	67歳	109,230 m <sup>2</sup>	
	性別	営農類型	
男	水稻		
<b>応募理由(抱負)</b>			
<p>定年(60歳)を迎え、今後の就労と地域貢献を考慮し認定農業者となり農地利用権制度を活用し退職後3年を経過し現在の耕作面積となった。 当初第7区内では農業従事者も多くいたが、近年後継者不足と高齢化により減少の歯止めがかからない状況である。私も若年者ではないが、健康体であるうちは地域の農業を維持増進するために、行政機関とのパイプ役となり地域の農業発展に寄与したい。</p>			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
令和3年10月	中部電力株 退職	令和元年12月	認定農業者
			現在に至る
農業委員への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する
<b>推薦者</b>			
名称		代表者又は管理人の氏名	
保々地区農業推進協議会		齋藤 和芳	
		構成員の人数	
		28人	
活動の主たる目的		構成員の資格・要件等	
農業行政の円滑な推進及び農業振興と農業経営の安定を目的とする		実行組合長、三重北農協総代、農業委員、農業共済会長など農業振興活動者	
<b>推 薦 理 由</b>			
<p>被推薦者は認定農業者で地域の農業や農家情報に精通しており、担い手への農地集積や耕作放棄地の解消や未然防止に努めている。また農地利用の最適化等の活動にも意欲があり、他の委員と協力して活動する意欲もあり地区の現状を把握し理解していることから農地利用最適化推進委員に相応しく、活動に貢献できるとして推薦いたします。</p>			